

● 現在の経営状況*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	1.9 p	7.5 p ↗
不動産流通業(住宅地)	△ 12.5 p	2.6 p ↗
ビル賃貸業	△ 18.5 p	4.6 p ↗

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	5.8 p	26.2 p ↗
不動産流通業(住宅地)	△ 18.3 p	13.8 p ↗
ビル賃貸業	△ 25.9 p	△ 0.9 p ↘

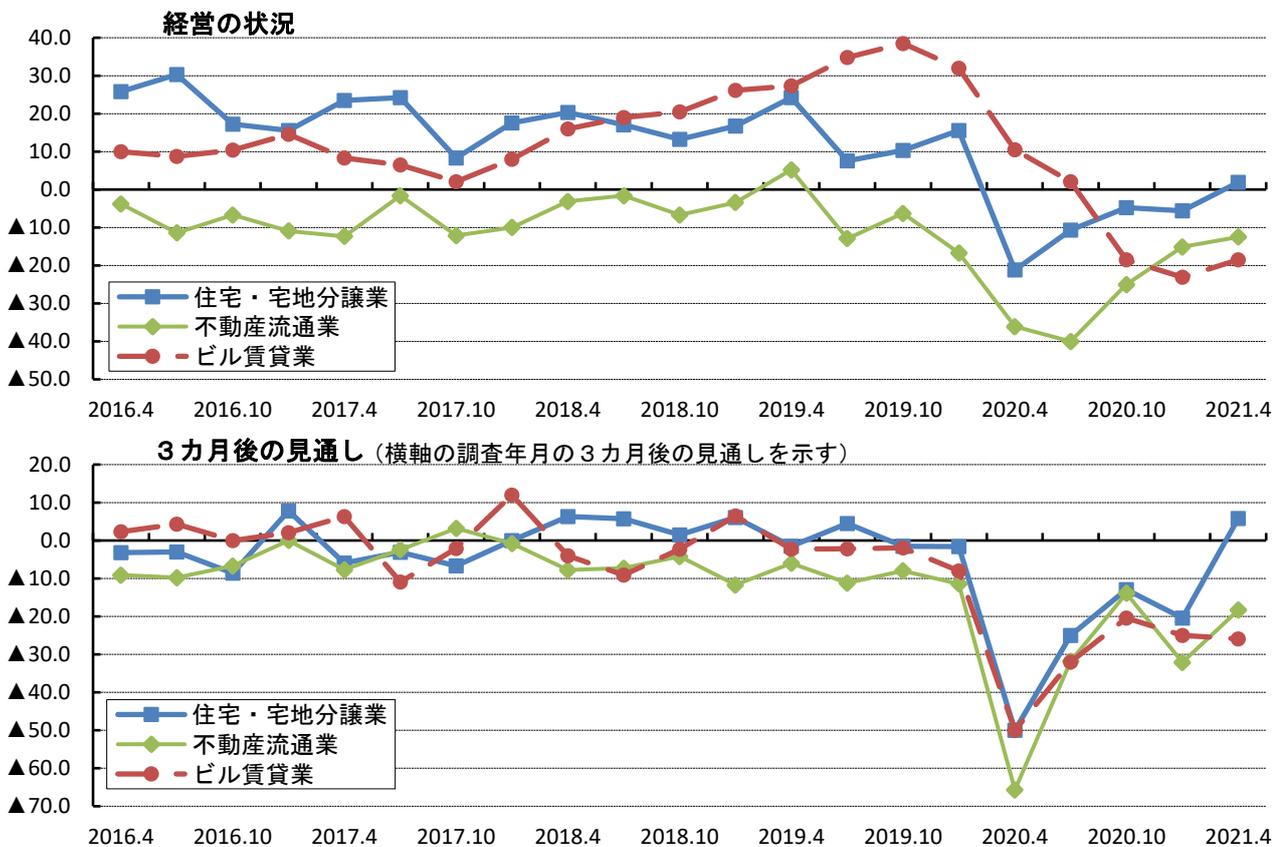
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 7.5p 改善し 1.9p。5期ぶりのプラス水準。
 不動産流通業は前回から 2.6p 改善し ▲ 12.5p。8期連続のマイナス水準。
 ビル賃貸業は前回から 4.6p 改善し ▲18.5p。3期連続のマイナス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業および不動産流通業で改善、ビル賃貸業で悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100~+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = { (「良い」×2 + 「やや良い」) - (「悪い」×2 + 「やや悪い」) } ÷ 2 ÷ 回答数 × 100

*3 3ヶ月後の見通し = { (「良くなる」×2 + 「やや良くなる」) - (「悪くなる」×2 + 「やや悪くなる」) } ÷ 2 ÷ 回答数 × 100
 （調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果 \(pdf\) ダウンロード](#)

資料: 一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第103号「不動産業業況等調査」